

# キセラ川西 PFI 事業 近隣公園を核とした新たなエリアマネジメントの実現に向けて

玉野総合コンサルタント株式会社 建設技術部 ランドスケープ課 則竹 登志恵

## ○キーワード

土地区画整理事業、PFI 事業、近隣公園、エリアマネジメント、市民参画、公園の利活用促進、事業者連携

## ○概要

兵庫県川西市の「キセラ川西地区」において、全国的にも事例の少ない土地区画整理事業へ PFI (Private Finance Initiative) 事業を導入した業務紹介である。本事業は、道路や公園等の都市基盤の整備を目的としており、建築物を建設しない極めて珍しい PFI 事業でもある。

地区の核となる近隣公園がこの 7 月に完成し、市民参画による公園の利活用や地区内のエリアマネジメントに本格的に取り組んでいく段階にある。長期事業の中で、この 4 年間の取り組みを踏まえ、地区内のエリアマネジメントの実現に向けた現状の課題を整理し、これからの方向性を模索している。

## ○技術ポイント

地区内の近隣公園「キセラ川西せせらぎ公園」の設計・施工・管理を一元的に捉えた市民参加を図るとともに、本地区内の民間事業者連携によるエリアマネジメントの実現に向け、実状に整合した組織化に向けて取り組んでいる。

- ① 事業の各段階における市民ワークショップ等の展開
- ② 市民プログラムワークショップから結成された公園内での市民活動チーム
- ③ 地区の実状に整合したエリアマネジメントの組織化スキームの再設定
- ④ 公園での市民活動の 3 つのステージの設定

今後は、公園と市民をつなぐプラットフォームである「キセラ・カフェ」の有効な運営方法の確立、地域人材の発掘と事業者連携へ取り組んでいく必要がある。また、このような新しいまちづくり推進手法では、各段階において調整手間・時間・労力が必要となることを、発注者である行政、SPC (特別目的会社) 構成企業間で理解し合い、協力して取り組む必要がある。

## ○図・表・写真等



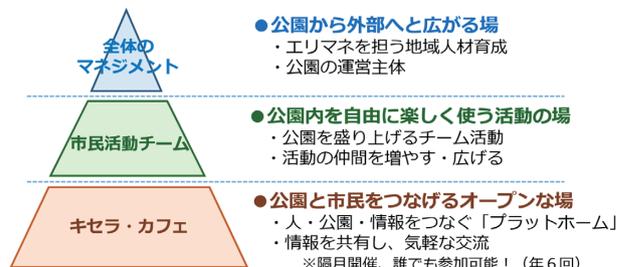
市民ワークショップから結成された公園での市民活動チーム

開園後の本公園で市民が自分たちのやりたいことを実現するチームづくりを目的に開催された市民プログラムワークショップから 5 つのチームが結成され、現在は開園した公園で活動を開始している。



### 実状に整合したエリアマネジメント組織化スキーム

本公園を「エリアマネジメントの核となる活動の場」と設定し、地域内外の市民や事業者もメンバーとし、「キセラ川西スタイル」のエリアマネジメントを模索し、自立した組織づくりを目指す。



### 市民活動の 3 つのステージの設定

本地区のエリアマネジメントは、本公園での市民活動が重要なポイントとなるため、市民の本公園との関わり度から、市民活動を 3 つのステージに分類して捉え、支援していく。